

講演者 山本尚教授 略歴

所属

中部大学分子性触媒センター長 中部大学総合工学研究所長 教授

学歴

昭和42年3月 京都大学工学部工業化学科卒
昭和46年3月 米国ハーバード大学大学院博士課程修了
学位 Ph.D.

職歴

昭和46年6月 東レ株式会社基礎研究所研究員
昭和47年4月 京都大学工学部助手
昭和51年10月 同大学講師
昭和52年9月 ハワイ大学准教授
昭和55年4月 名古屋大学工学部助教授
昭和58年4月 同大学教授
(平成12年4月 同大学 情報メディア教育センター長)
(平成15年4月 名古屋大学名誉教授)
平成14年7月 シカゴ大学化学教室教授
平成24年4月 中部大学教授
(総合工学研究所長、分子性触媒研究センター長)
(平成24年7月 シカゴ大学名誉教授)

専門分野

有機化学、生物有機化学、有機金属化学、天然物合成

研究テーマ

酸触媒の開発、不斉酸化触媒の開発、新しいリガンド設計等

受賞歴

日本化学会進歩賞(昭和52年4月) IBM科学賞(昭和63年10月) 服部報公賞(平成3年10月) 中日文化賞(平成4年5月) スイス連邦工科大学プレログメダル(平成5年11月) 日本化学会賞(平成7年3月) 東レ科学技術賞(平成9年3月) ハーバード大学ティシュラー賞(平成10年4月) フランス化学賞(平成14年1月)、テトラヘドロンチェアー賞(平成14年7月)、紫綬褒章(平成14年11月)、モレキュラーキラリティー賞(平成15年10月)、アメリカ科学会、AAS, フェロー(平成15年10月)、山田賞(平成16年10月)、テトラヘドロン賞(平成18年)、チーグラー賞(平成18年11月)、日本学士院賞(平成19年6月)、フンボルト研究賞(平成19年)、日本化学会名誉会員(平成20年4月)、インド化学研究院フェロー(平成20年)、有機合成化学協会特別賞(平成21年1月)、アメリカ化学会賞創造賞(平成21年4月)、アメリカ学士院会員(平成23年9月)、野依賞(平成24年2月)、藤原賞(平成24年6月) 米国ロジャー・アダムス賞(平成29年4月)
日本工学教育賞業績賞「高度総合工学創造実験による創造性教育の実践」(平成14年7月19日)